

# あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

厳しい寒さの合間に少し春めく日もあり、皆さま如何お過ごしでしょうか。

私どもの事務所は、海のすぐそばにあります。そのせいか、気がつくとな風が吹いていることがよくあります。付近には、小松島みなと交流センター (Kocolo) やボードウォーク広場、しおかぜ公園などがあり、気候がよいときは、(お弁当も持って、野良猫、鳶と一緒に風に吹かれて) 昔からの「みなと」を体感できるいいスポットになっています。

閑話休題、風といえば、関係者で「みなと」の中・長期を勉強している関係で、洋上風力発電について専門家の話を聞く機会がありました。洋上風力発電設備は部品数が多く、また、事業規模も大きいいため、地元産業を含めた関連産業への波及効果が期待されるとのこと。

吹く風はいろいろですが、新しい年度に向けて、皆さまに、さらには「みなと」にいい風が吹けばいいなと思っています。

平成31年2月18日 小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸

## みなと報告

### ケーソン据付工事を実施 ～防波堤完成に向け、最終段階へ～

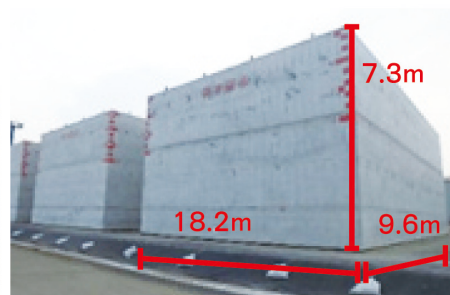
徳島小松島港沖洲(外)地区では、波の侵入を防ぎ港内の静穏度を確保するため、防波堤を150m延伸する工事を実施中です。

1月中旬から下旬にかけて、ケーソンという大きな鉄筋コンクリートの箱を8函据付ける工事を行いました。本施工は、重さ約800トンのケーソンを起重機船を利用して吊り下ろし、仮置場から防波堤の先端まで運んで据付けする作業となっており、施工は迫力満点でした。10センチ単位の据付け精度が要求される工事であり、フェリーやLNG船など多くの船舶が行き来する現場のため、漁業協同組合や海運会社等関係各所との事前調整だけでなく、当日も密な連絡を取りながら進め、1月30日に最後の1函を無事に据付ける事ができました。

今後、上部コンクリートの打設、消波ブロックの据付け等を行い早期の工事完了を目指します。



ケーソン据付け状況



仮置場のケーソン (1函約800トン)



\* 静穏度とは…港湾内における船舶が安全に操船、停泊、係留及び荷役ができる様、波を穏やかにする度合いのこと。

\* 消波ブロックとは…外海からの波を打ち消す役割を持ったコンクリートブロックのこと。ケーソンよりも外海側に設置する。